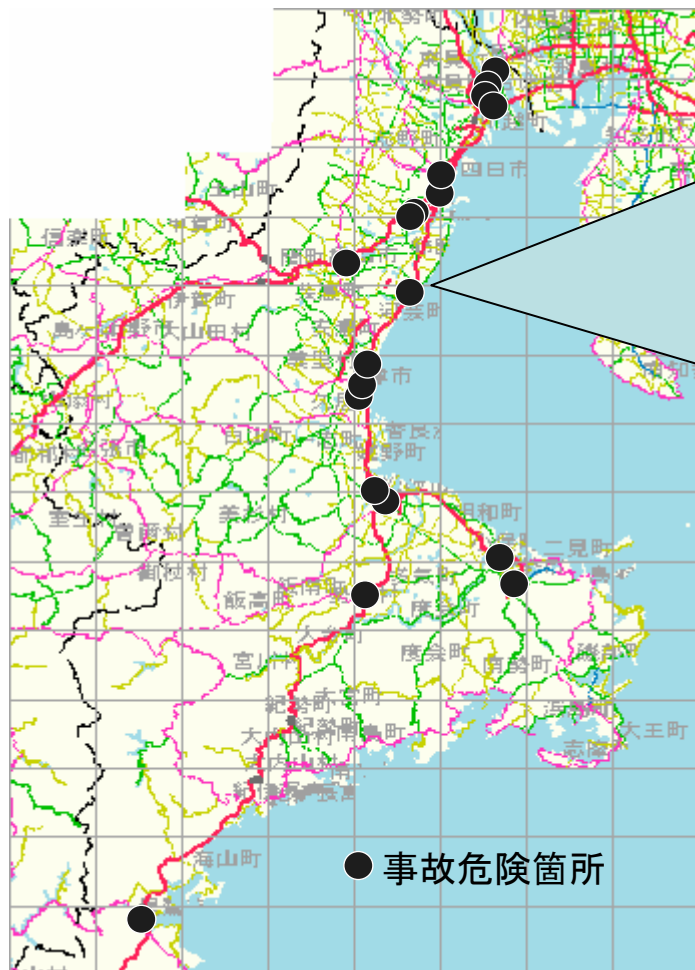


交通事故対策 事例3) 右折レーンの工夫による事故減少(三重県鈴鹿市)

STEP 0 三重県内の交通事故危険箇所の実態を把握

国道23号 寺家(じけ)五交差点の事故状況(平成11～15年)

⇒ 年間8件の交通事故が発生

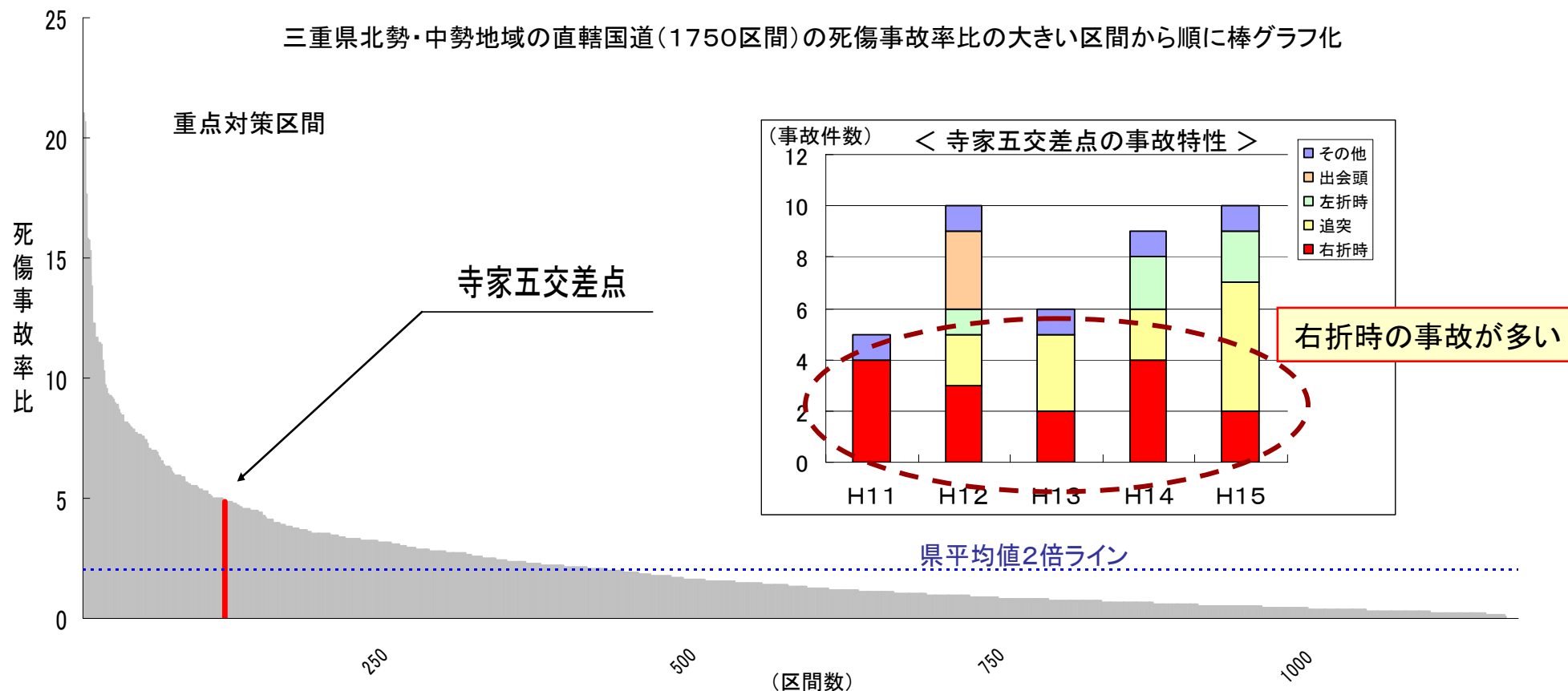


## STEP 1

三重県北勢・中勢地域の死傷事故率比グラフで、該当区間の優先性を確認  
該当区間の事故実態を分析

### < 死傷事故率比(H12～H15) 優先度明示グラフ >

三重県北勢・中勢地域の直轄国道(1750区間)の死傷事故率比の大きい区間から順に棒グラフ化



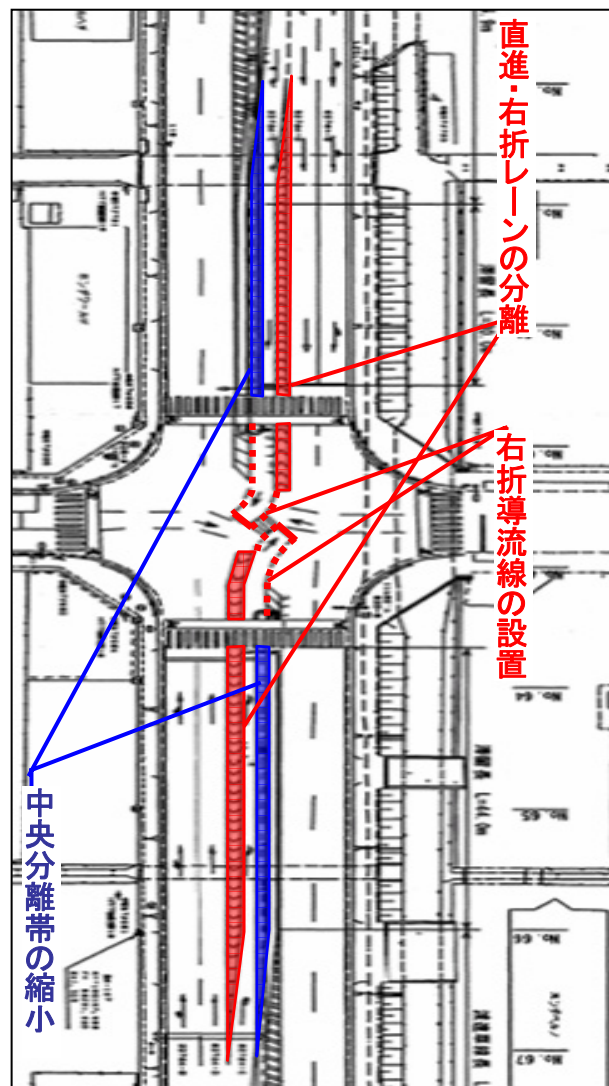
死傷事故率 ; 交通事故発生比率で、年間の交通死傷事故件数を道路交通の量(自動車走行台キロ)で除した値  
死傷事故率比; 県内全区間の死傷事故率の平均値に対する比率。



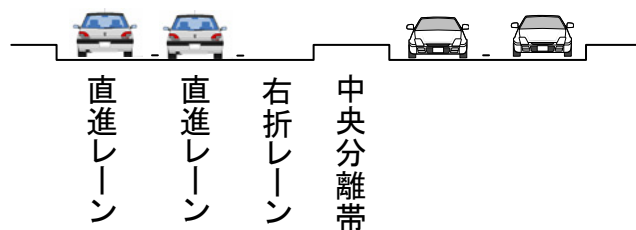
## STEP 2

### 対策実施：直進レーンと右折レーンをゼブラ帯で明確に分離

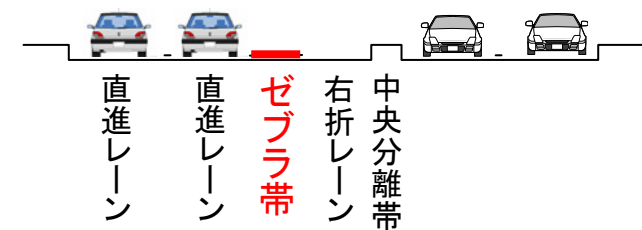
交差点内の右折待ち車両と、対向車線の直進車両との視認性を向上するため中央分離帯幅を1m縮小し、直進と右折レーンをゼブラ帯で分離した。



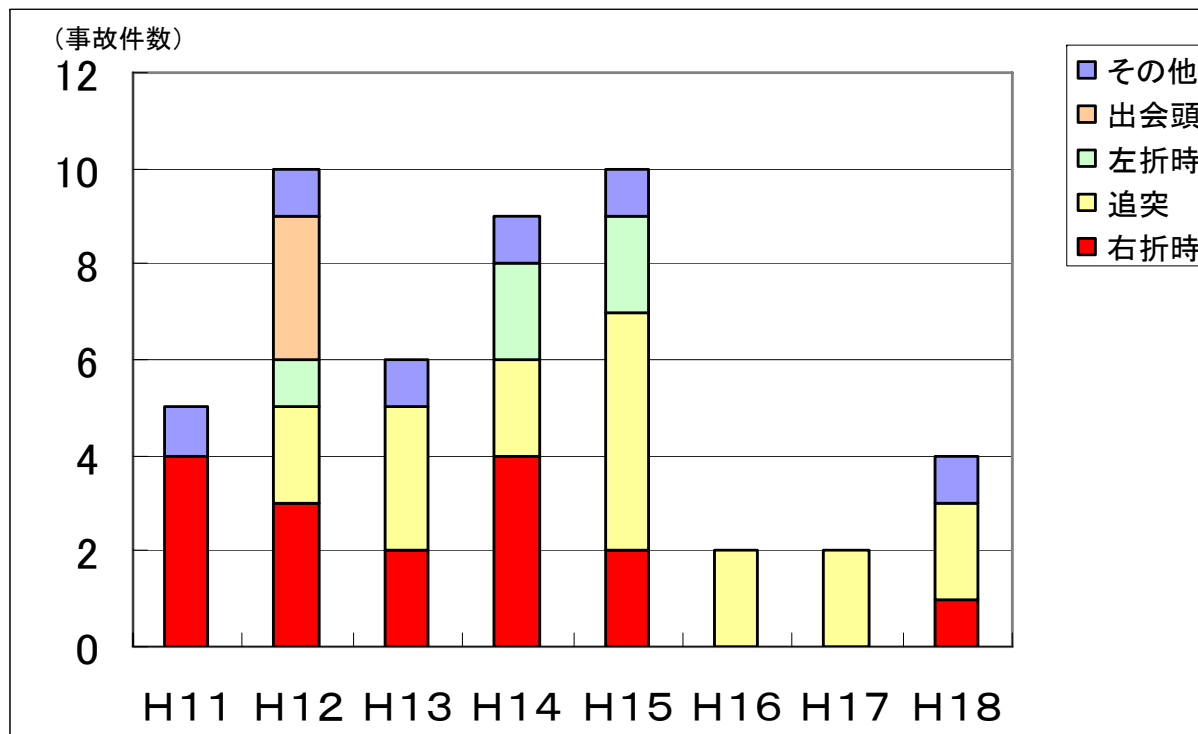
対策前



対策後



## STEP 3 対策後：寺家五交差点の交通事故が約6割削減



H11～H15  
平均事故件数  
**8.0件/年**



H16～H18.7月  
平均事故件数  
**3.5件/年**



**約6割削減**